

農林水産省登録
第23909号

殺菌剤分類 P2

殺菌剤



オリゼメート®

顆粒水和剤

プロベナゾール水和剤



水稲にも

野菜(キャベツ、はくさい、ブロッコリー)にも!



殺菌剤

オリゼメート[®] 顆粒水和剤

農林水産省登録
第23909号

包装:500g 有効成分:プロベナゾール…48.0% 人蓄毒性:普通物※ ※毒劇物に該当しないものを指している通称

特長

- 1 水稲にも野菜(キャベツ、はくさい、ブロッコリー)にも使用可能**
水稲のいもち病、キャベツ、はくさい、ブロッコリーの各種細菌病に対して有効で、安定した効果が長く続きます。
- 2 植物の抵抗力を誘導**
植物の病害抵抗性を誘導して、高い防除効果を現すユニークな作用性の殺菌剤です。

●適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
			湛水直播時		ペースト肥料に混合し側条施肥は種機で施用する。	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	黒腐病 黒斑細菌病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	定植時	1回	灌注	1回
はくさい	軟腐病 黒斑細菌病						
キャベツ	黒腐病 黒斑細菌病						

●使用方法(水稲)

- 1** **ペースト肥料の準備。**
10aに施用するペースト肥料をバケツなどの容器に入れて下さい。
- 2** **オリゼメート顆粒水和剤濃厚液をつくる。**
本剤 500g (10a 当りの使用量)を同重量(500ml)の水に入れ、よく攪拌して下さい。
- 3** **ペースト肥料にオリゼメート顆粒水和剤濃厚液を混合する。**
所定量のペースト肥料にオリゼメート顆粒水和剤濃厚液を混和し、稀などでよくかきまわし均一に混合して下さい。
- 4** **(ペースト肥料・オリゼメート顆粒水和剤混合液)を側条施肥田植機の肥料タンクに注入する。**
- 5** **田植作業を始める。**
作業手順と施肥量の調整などは、側条施肥の手順どおりに行って下さい。

●使用方法(キャベツ、はくさい、ブロッコリー)

- 1** **本剤を100倍に希釈する。**
- 2** **セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊に対し0.5ℓを散布する。**

⚠効果・薬害等の注意

- 本剤をペースト肥料に混合し側条施用する場合は、次の事項に注意して下さい。
 - ・予め本剤を同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機または側条施肥は種機で本田に施用して下さい。
 - ・本剤と混合したペースト肥料は、その日のうちに使用して下さい。
 - ・同一の病害を防除対象とする育苗施用薬剤とは併用しないで下さい。
 - ・移植後は湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意して下さい。
 - ・砂質土壌、漏水田、未熟有機物多用田では使用しないで下さい(薬害)
- セル成型育苗トレイまたはペーパーポットに灌注する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から灌注して下さい。また本剤が土壌に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水は避けて下さい(効果)
- 定植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用を避けて下さい。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理して下さい。
- 使用量、使用時期、使用方法を守って下さい。特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠安全使用上の注意

- 誤飲、誤食に注意して下さい。
- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい(刺激性)
- 散布時は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用し、保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをし、衣服を換えて下さい。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい人は作業しないで下さい。施用した作物などに触れないで下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 魚毒性等…養魚田では使用しないで下さい(魚類)
散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 保管…密封し、直射日光を避け、**食品と区別して**、冷却・乾燥した所。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は